



2001年10月05日

「ゴルフ レザー コレクション」発表

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(代表取締役社長:梅野 勉)は、フォルクスワーゲン ゴルフの最量販モデル、「ゴルフGLi」をベースに、レザースポーツシートやレザーステアリング、レザーシフトノブなどの本革アイテムでコーディネートした、「ゴルフ レザー コレクション」を発表。9日より、全国のフォルクスワーゲン正規ディーラーにて販売を開始します。なお、店頭での発売フェアは、10月13日(土)、14日(日)の両日開催されます。

今回導入する「ゴルフ レザー コレクション」は、人気のゴルフGLiをベースにした特別仕様車であり、優れた基本性能と品質に、「本革」が持つ重厚で落ち着いた雰囲気の内装と、シートヒーターなどの快適装備を追加した、アップグレードモデルとなっています。さらに、こうした居住空間の充実にあわせて、外観もサイズアップした16インチ アルミホイールを採用。レザーステアリング、レザーシフトノブなどと共に、スポーティーな演出を施しています。

左ハンドルのみを設定となる「ゴルフ レザー コレクション」は、2.0リッター ガソリンエンジンを搭載。滑らかなシフトフィーリングの4速オートマチックとの組み合わせによって、快適な走行性能を実現しています。足回りには定評のあるゴルフのサスペンションに、16インチ アルミホイール「モンテリオール」と205/55 R 16スチールラジアル タイヤが標準で採用されています。また安全性の面でも、ABS(アンチロック ブレーキ システム)、EDS(電子制御式 ディファレンシャル ロック システム)、EBD(電子制御式ブレーキ圧配分システム)及び、これらの高度な安全装置を包括的に電子制御することによって、走行時の車体姿勢を監視し、緊急時の車輛の動きを絶妙にコントロールするESP(電子制御式車輛安定システム)も標準装備されています。

ゴルフは1974年にドイツで発表され、今後の小型車のあり方やその方向性を決定付けた、「ゴルフクラス」という言葉をも作り出した、エポックメイキングなクルマとして高く評価されてきました。ゴルフそのものが持つ卓越したテクノロジーと、絶妙なパッケージング。そして、何よりも優れた走行性能と安全設計の思想は、現在においても小型車のベンチマークとして世界中から注目され続けています。革命的なデビューを果たした初代ゴルフの後、1983年には第二世代が、そして1991年に第三世代。さらに1997年には、現在の第四世代へと進化。2000年9月には、累計生産台数2,000万台を突破。現在もその記録を更新中です。

全国希望小売価格 280万円 (ご参考: Golf GLi \2,735,000)

国内販売台数 1,000台

主な仕様 左ハンドル、4Dr、4速オートマチック トランスミッション

ボディカラー トルネードレッド、ブラックマジックパールエフェクト、リフレックスシルバーメタリック (内装は全色共通のブラック)

特別装備品 【内装】 シートヒーター付きレザー スポーツシート、革巻3本スポーク ステアリング ホイール、革巻ハンドブレーキ

グリップ、革巻シフトノブ

アルタイヤ

【外装】

6.5J × 16 アルミホイール「モンテリオール」、205/55 R16 スチールラジ